

読書

県図書館のファッショ
ン関係の貴重書籍にも
う一つ、一八二二年にフ
ランスのドナティエヌ・
ティエリが創刊したモー
ド誌「プチ・クリエ・デ・ダ
ーム(Petit Courrier des
Dames)」に掲載され
てきた時代。いくつもの
モード誌が刊行され、台
頭してきたブルジョワシ
ーはパリのファッショ
ン情報をそれらモード誌を
通じて享受していった。
当時のモード誌の中で
もこれが画期的だったの
は、華麗なファッショ
ン

県図書館に行こう

こんな情報^①が待っている

たモード画を全六巻に集
めた図版集(一八二一
三三年刊行分)がある。こ
の誌名は「貴婦人通信」と
いう意味である。

「プチ・クリエ・デ・
ダーム」が創刊されたこ
ろは、新たな富裕層が政
治や経済の分野に進出し
てきた時代。いくつもの
モード誌が刊行され、台
頭してきたブルジョワシ
ーはパリのファッショ
ン情報をそれらモード誌を
通じて享受していった。
当時のモード誌の中で
もこれが画期的だったの
は、華麗なファッショ
ン

誌「プチ・クリエ・デ・ダーム」の華麗なファッション画

以後、他のモード誌も見
習うようになった。
フランス革命(一七八
九-九九年)直後はギリ
シャ風のゆったりとした
ドレスが流行していた
が、一八二〇年ごろ、ナ
ポレオン体制の弱体化に
乗じて旧貴族が復活する
と、再び貴族趣味的でロ
マンティックなドレスが
流行し始める。
「プチ・クリエ・デ・
ダーム」は、こうした世
相の変化を敏感に読み取
り、華麗なロマン主義の
衣装デザインを考案して
いく。ふわりと広がるス
カート、花や羽で飾り立
てられた華麗な帽子、ま
た、極端に装飾されたこ
つけない髪型など、一枚
一枚の図版はこの部分を
みても興味深いものとな
っている。これも県図書
館ホームページ(<http://www.library.pref.gifu.jp/digitalib/petitcourrier/index.htm>)で閲覧できる。



「プチ・クリエ・デ・ダーム」誌図版集の、美しいファッション画のひとつ